静岡市大谷地区モビリティサービス共創プロジェクト（静岡市駿河区）

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
静岡市大谷地区モビリティサービス共創プロジェクト
【事業主体】一般社団法人 静岡TaaS
【構成員】静岡市 大谷・小鹿地区まちづくり検討会議
株式会社 TOKAIケーブルネットワーク
株式会社 駿河交通
国立大学法人 東海国立大学機構名古屋大学
株式会社 日建設計総合研究所

地域課題

市街化調整区域のまちづくり検討がなされているが、同時に丘陵地を切り開いた駿河台団地などの住民の高齢化対策、静岡大学の学生活動支援も重要であり、多様な関係者による地域公共交通の利用促進とサービス共創が求められている。

実証事業の内容

学生から子育て世代、高齢者までの多様な移動ニーズを整理し、“自分ゴト”として地域公共交通サービスの維持・改善ができる体制（モビリティデザイン・センター）の構築を目指して、公共交通サービスの利用実態や先行事例を情報共有し、体験乗車会（イベント企画）を共に行うことで、地域で公共交通サービスの利用促進活動ができる人材育成活動を行う。

今後の展開

本年度に企画予定の実証実験を来年度に実施し、交通事業者が事業化の判断を行う。モビリティデザイン・センター設立に関しては、学生活動や実証実験に合わせて継続的に議論を行い、自治体や交通事業者との連携方法を精査する。

事業実施地域・手順

静岡市駿河区大谷地区

①企画調整・準備
- 公共交通サービスの既存データ、地区活動の整理
- 利用促進（MM）資料作成

②情報共有(移動ニーズ把握)・体験乗車会の企画
- 他都市・他地区の事例紹介
- 利用促進（MM）資料の理解
- 路線バス、AIオンデマンド交通（タクシー）、シェアサイクルの体験乗車企画

③これから取り組めることの整理
- 体験乗車会の反省
- 利用促進策やデータ分析の検討、MaaS実証実験企画

④体制構築に向け本年度の取組み整理
- データ整理・情報提供→利用促進策（イベント）検討→反省の手順整理

事業スケジュール

手順		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①		→	→					
②	自治会向け				→	→	→	
	学生向け			→	→	→	→	
③						→	→	
④							→	→